

特集「愛^{いと}し誇^{ほこ}らし、 たけはら暮らし。」

Vol. 5

以前勤めていた会社を退職後、東京都から移住し、現在は「カフェ ホクストン」を経営されている平田紀雄さんにお話を伺いました。

●竹原への移住のきっかけ

会社に勤務していた時、そろそろ定年後のことを考えないといけないという思いがあり、また、広島県内の実家で一人暮らしをしていた母親のことも心配だったので、広島県に帰ろうと思ったのがきっかけです。

ちょうどその時期に、東京都の有楽町に「ひろしま暮らしサポートセンター」があると聞き、まずはそこに相談に行きました。そこで対応してくれた担当者がとても親身になってくれて、自営業

や経営の仕事は、年齢に関係なく自分がやりたい仕事ができるということもあり、自営業について考えるようになりました。

その中で、「ホクストン」の紹介の資料を見つけて、そこに掲載されていた風景やお店の外観を見て、すごく素敵なお店だと思い、帰省の際に現地に行き、実際に景色を見てから決意しました。

●竹原の魅力について

忠海長浜の海岸から見える景色は、島々のコントラストがはつきりしていて、遠近で色々な島を見ることが出来ます。竹原方面や三原方面に少しでもずれてしまうと、大きな島が目の前にあるので、そのような景色はここで見られない最高の

のロケーションだと思います。会社勤務していた時は転勤が多く、特に太平洋側の都市に行くことが多かったのですが、高い波を見て気分が高揚することが多かったのですが、瀬戸内の風の海は心が落ち着き、穏やかな気持ちになれることが魅力だと思います。

●竹原で感じること

竹原に住んでいると、素晴らしい風の瀬戸内海の景色がそこにあることを、普通のことだと思っている人が多いように感じますが、この景色こそが一番の観光資源だと思っています。都市部の人やあまり瀬戸内海を見たことのない人に対して、もっとPRしていきたいです。

また、町を歩いていると、都市部に比べて若い人が少ないように感じます。若い世代で起業をする人がどんどん増えて、若い人が町にたくさん入ってくれば良いと思います。



ひらた のりお 平田紀雄さんのプロフィール

東京都より移住。勤めていた会社を退職後、都内にある「ひろしま暮らしサポートセンター」への相談を通じて、竹原へ。事業を承継し、現在忠海で「カフェ ホクストン」を経営。



▲「カフェ ホクストン」から見える
ここでしか見られない瀬戸内の景色。



▲店内は落ち着いた雰囲気、市内外から多く
のお客様が来られます。